

IVRにおける放射線被ばく低減を目的とした撮影線量評価に関する研究

1. 研究の対象

2021年1月～2026年12月に当院でIVRを受けられた方

2. 研究目的・方法

我が国では、診療用放射線に関する安全管理体制を整えるべく、医療被ばく（放射線量）を管理・記録していくことが義務化されるようになり、IVR（Interventional Radiology；画像下治療）においても日本の診断参考レベル（DRLs2020）をもとに手技や疾患毎に評価することが求められております。当センターは、全国循環器撮影研究会からIVR被ばく低減施設認定を受けており、目的に応じて診断能を損ねない範囲内で放射線量を下げ、放射線防護の最適化に努めております。本研究では、IVRの手技の中で得られた過去画像から画質と放射線量の後方視的検討を行い、最適な撮影方法について検討します。

研究予定期間：倫理審査委員会承認後 ～ 西暦2026年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、年齢、性別、身長、体重、血管撮影検査の画像及び放射線量情報 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR科 榎本 公明（研究責任者）

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181